

平成 22 年度 学校評価の結果 報告

浜松市立北小学校

平成 21 年度までの学校評価は、36 項目について実施していた。平成 22 年度は、小中一貫教育推進に向けて、現在の本校の教育活動及びこれからの小中一貫教育について保護者の幅広い意見を聞きたいと考え、数値評価については浜松市共通項目と家庭教育についての 15 項目に減らした。しかし、小中一貫教育に関わる学校行事についての意見や本年度の教育活動及び子どもの表れについて意見をいただき、来年度の教育課程に生かしていくことにした。

I 学校教育アンケート (数値目標)

| | No. | 質 問 | 評 価 (平均値) | | | |
|--------------|-----|--------------------------------------|-----------|-----|-----|-----|
| | | | 保護者 | 児童 | 評議員 | 教師 |
| 楽しい授業 分かる | 1 | 学校は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。 | 3.2 | 3.4 | 3.7 | 3.0 |
| | 2 | 学校は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している。 | 3.3 | 3.6 | 3.8 | 3.0 |
| | 3 | 学校は、子どもに応じた学習の手助けを行っている。 | 3.2 | 3.6 | 3.7 | 2.7 |
| 理解 子ども | 4 | 学校は、児童一人一人を理解し、大切にしている。 | 3.3 | 3.4 | 3.5 | 3.2 |
| | 5 | 学校は、いじめのない学校、学級、集団作りに取り組んでいる。 | 3.1 | 3.6 | 3.6 | 3.4 |
| | 6 | 学校は、子どもの生命を大切にする心や、社会ルールを守る態度を教えている。 | 3.2 | 3.7 | 3.6 | 3.4 |
| 開かれた学校 | 7 | 学校は、三者面談や教育相談等が充実し、相談がしやすい。 | 3.2 | 3.5 | 3.7 | 3.0 |
| | 8 | 学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。 | 3.4 | | 3.8 | 2.7 |
| | 9 | 学校は、便りやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。 | 3.3 | | 3.8 | 2.6 |
| | 10 | 学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分行っている。 | 3.2 | | 3.8 | 2.7 |

| | | | | | | |
|------|----|---|------|------|--|--|
| 家庭教育 | 11 | お子さんは、早寝早起き朝ご飯を心掛け、規則正しく過ごしていますか。 | 3. 1 | 3. 1 | | |
| | 12 | お子さんは、学校のことや友達のことを家の方に伝えるように話しますか。 | 3. 1 | 3. 1 | | |
| | 13 | お子さんは、学習や友達とのかかわりなど学校生活に前向きに取り組んでいますか。 | 3. 3 | | | |
| | 14 | お子さんは、家庭で学習を進めたり、翌日の学習の用意を確実にしていますか。 | 2. 9 | 3. 3 | | |
| | 15 | 学校行事、学習参加会、参観会など学校教育やPTA活動に進んで参加していますか。 | 3. 3 | | | |

【考察・改善方策】

全般的に児童や評議員の評価が高くなっている。逆に、教師の評価が低い。もっと時間をかけて子どもたちに接したい、情報発信をしたいという強い思いはもっているが、なかなか実行できないというもどかしさの表れであると思う。事務的な仕事や会議の精選をし、子どもに接する時間、教材研究の時間を本年度以上に確保していく必要があると考える。

家庭学習については、保護者の評価が児童に比べ低いのは、保護者が家庭学習の重要性を強く認識している表れであり、学校から各学年に合った家庭学習の進め方についてアドバイスをしていく必要があると考える。

II 学校教育評価 自由既述（概要版）

1 学校運営・経営

- 北小の先生方が良い先生で良かった。他の先生方のバランスがよい。
- 先生が子どもをしっかり見てくれる。北小教育に誇りがもてる。
 - ・学校の特徴がよくわからない。
 - ・学級を少人数にすればよい (2)

2 学校行事

(1) 文化発表会

- 合唱は涙が出るくらい感動的だった。
 - ・北小単独実施がよい。(24)

(2) 運動会

- 6年生のお手伝いがよい。
 - ・北小単独実施がよい。(16)
 - ・春に実施でもよいのではないか。(3)

(3) 参観会・懇談会

- 11月の参観会が幼稚園の行事と重なるので考慮をして欲しい。(3)
 - ・発表会、参観会が月に2回にならないようにして欲しい。

(4) 林間学校

- 林間学校は、家庭を離れ、友達と協力してたくさんの経験をすることで心の成長が図れた。○林間学校の実施時期がよい。
 - ・林間学校は1回でよい。(3)
 - ・林間学校は、1回ずつ違う場所で行う方がよい。(2)

(5) 修学旅行

○修学旅行の企画がよい。 ・修学旅行を2泊3日にできないか。

(6) 遠足

・雨の中で遠足に行くのはおかしい。 ・事前にメール連絡をして欲しい。

(7) その他

○行事や参観会など思ったより多かった。是非継続をして欲しい。

○学校行事を行うのに適した時期に行っている。

○行事を決めるのに子どもの自主性を育ててくれている。

○前向きに取り組んでいる子どもたちに好感がもてる。

○学校とPTAの連携がよい。 ○中学との交流はよい。

・学校行事は平日にして欲しい。

・保護者が参加する行事がもう少しあってよい。

3 生徒指導

○挨拶ができる児童が多い。(3)

○学年を越えて仲がよい 縦割り活動がよい。(6)

○元気、素直で明るい。クラスの雰囲気がよい

○歌がすばらしい。歌声で安心して学校へ行かせられる。

・人の命の大切さを考える取り組みが必要。

・挨拶が少なくなったような気がする。(3)

・もう少し、縦割り活動があってもよい。

・子どものしつけについて、学校からいいアドバイスを欲しい。

・友達と遊ぶ最低限のルールを指導して欲しい。家庭での指導の限界がある。

4 学習

○女性の先生ならではの細かな指導のおかげで、確実に学力がついているのが実感できる。

○学習習慣が身に付いてきている。 ○授業の進め方がよい。授業が楽しそう。

○毎日の宿題が学力の定着につながっている。

○学年団内の教師で授業を行い、多くの先生が一人一人を見てくれて安心感がある。

○廊下に掲示してある図工作品がすばらしい。

・進んで学習ができない子どものために、積極性がもてる指導を行って欲しい。

・文武両道を ・補習などを進んでやって欲しい。

・考えさせる習慣を身につけさせたい。

Ⅲ 平成23年度 学校教育課程

1 学校運営・学校経営について

学校目標「自他ともに大切にし、活力ある子ども」、本校の校訓（重点目標）である智仁勇、確かな学力育成、豊かな心の育成、健やかな心身の育成のために、学年発達に合わせた場を設定し、教育活動を組み、実践していく。計画や検証の場が、校内研修、三

校合同研修会や研究発表会であり、保護者や地域の方に公開し、子どもたちの成長の様子を見ていただく。

来年度は、小中一貫教育をさらに進めていく。子どもたちのよりよい成長を考えて、小中連携、小小連携、北小学校単独実施する内容をはっきりさせて、教育活動を進めていく。

2 行事について

本校の各行事は、学校教育目標を目指した子どもを育てるために、成長過程や学習状況を考慮し、系統立てて設定している。校外学習については、6年生の修学旅行で行う職業体験（生き方指導）・グループ活動につながるように、1年生から計画立てて進めている。また、学習指導要領で強調されている「生きる力」がはぐくまれるように、豊かな体験を積むことができるように、校外学習や外部講師による指導、学校行事を組んでいる。

なお、運動会と文化発表会については、子どもたちの活動や学習効果などを考慮し、来年度、本校単独で実施する。

小中一貫教育、教育効果を考えて、小中連携（授業・市音研）、小小連携（交流遠足）の活動も取り入れていく。

3 生徒指導について

生徒指導は、触法行為・非行・不良・不法行為等の生徒指導は、皆無に近い状態である。子どもたちの日々の変化をとらえ、共通理解（生徒指導委員会・朝の情報交換会）をしながら指導を進めていく。

4 その他

学習に比べ、運動能力・体力面では市平均を下回る項目が多いために、来年度は投力に絞り、学年に応じた運動内容を考え、年間の体育の学習を通して指導を進めていく。